

令和5年度（2023年度）島根県立大学
国際関係学部 国際関係学科
国際関係コース

総合型選抜（自己推薦）

小論文

【試験時間 90分】

以下の注意事項をよく読んで指示に従うようにしてください。

指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。許可なくこの問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 解答時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから3ページです。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明な箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は2枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 解答時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

○次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

注¹： ヘルダー (Herder, Johann Gottfried, 1744～1803)、ドイツの哲学者、美学者、批評家、言語哲学者。

注²： ヴィーコ (Giambattista Vico, 1668～1744)、イタリアの社会哲学、歴史哲学者。

注³： イギリスの哲学者アイザイア・バーリン (Isaiah Berlin, 1909～1997) の言葉である。以下の引用も同じである。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(出典：青木保『多文化世界』岩波書店、2003年、102-106頁。

なお、出題の都合上、一部文言を変更し、省略を行い、適宜注を付けた。)

問1 文章中の下線部①の「(文化)多元主義」、「文化相対主義」、そして、「文化発展説」という三つの言葉の間の異同について説明しなさい。(220字以内)

問2 文章中の下線部②に「相対主義はともすれば、自分たちがやってきたこと、あるいは自分たちの文化が持っている価値が、絶対であるという主張にもなってしまいます」と述べられているが、それはなぜなのか。問題文の内容を踏まえて説明しなさい。(200字以内)

問3 文化多元主義がなぜ重要なのか。現代世界が直面している課題の中から具体的な事例を挙げて説明し、あなたの考えを述べなさい。(500字以内)